

## 2 大会主題・副主題・大会趣旨

### (1) 大会主題

「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」

### (2) 副主題

「豊かな発想力や創造性を身に付け

多様な人々と協働しながら 未来を拓く子どもを育む学校経営」

### (3) 大会趣旨

関東甲信越地区小学校長研究協議会は、全国連合小学校長会の大会主題「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」を受け、これからの時代を生きる子どもの「生きる力」を育む学校経営の在り方や校長としてのありようについて研究協議を重ねてきた。

今日の我が国は、あらゆる分野でグローバル化、情報化が進み、社会構造や人々の生活は大きく変化してきている。また、予測困難な時代と言われ、急激な少子高齢化や経済格差による教育格差、地域コミュニティの変化等への対応は難しく、多くの課題を抱えている。このような時代にあって、教育へのニーズも多様化・複雑化してきており、学校教育には、子どもたちが豊かな発想力や創造性を身に付け、様々な変化に主体的に向き合い、他者と協働して課題解決していく力の育成等が求められている。一方、「学校における働き方改革」の推進が喫緊の課題となっている。

私たち校長は、このような現状を深く認識し、今後育む子ども像として、来年度から実施される新学習指導要領の前文にある「自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる」を胸に刻む必要がある。併せて校長は、これからの時代を見据えて、教育課程を一層組織的かつ計画的に編成するとともに、「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という理念を家庭や地域社会と共有できるよう、教育課程編成の方針を発信していかなければならない。

それらの具現化に当たっては、「生きて働く知識・技能の習得」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成」「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養」の3本の柱を偏りなく実践し、確かな学力や、豊かな心、健やかな体をバランスよく育成することが必要である。各学校では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を通して、効果的な学習過程や指導法・評価等を展開し、「カリキュラム・マネジメントの確立」と「教職員の資質・能力の向上」を図りたい。また、教職員の働き方を見直す視点からは、「子どもと向き合う時間」と「誇りややりがいを持てる環境」の確保につながる業務改善計画の作成が重要となる。

本年度は、全国連合小学校長会が掲げ、平成25年度より引き継いできた大会主題のもとで行う最後の大会である。長野大会の成果を受け継ぎ、本大会主題が示す理念の具現化と研究の集大成を目指し、副主題を「豊かな発想力や創造性を身に付け 多様な人々と協働しながら 未来を拓く子どもを育む学校経営」とした。

本大会では、関東甲信越各地区の校長会の提言をもとに研究協議を重ねる中で、私たち校長が果たすべき役割とその指導性を明らかにしていきたい。